

技術・家庭（技術分野）1年

はじめに

技術家庭（技術分野）では、生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てることをねらいし取り組んでいる教科です。

年間計画

題 材	学 習 の 内 容
技術分野ガイダンス	・技術科として、中学校三年間で学びたいこと、生活に生かしたいことをまとめ、技術室の使い方、技術の歴史を学習する。
A 材料と設計の学習 ・製作と組立て ・適切な工具の選択	・製作図のかき方を学習する。 「木工作品の設計図」提出 ・木工材料の特徴や工具の名称、使い方を学ぶ。 ・製作工程と加工技術を学び、自分が選んだ工具や工作機械の安全な使い方や製作工程を学習する。 「木工作品の完成」提出
D 情報に関する技術 ・コンピュータの情報処理のしくみ ・ネットワークの種類と特徴 ・デジタル作品の設計と製作	・コンピュータのしくみやデジタル化の手順。 ・ソフトウェアの操作を学び情報に関する科学的理解をする。 高度なソフトウェア操作を学ぶ 「ソフトを使った作品の完成」提出

教科の先生からのアドバイス

技術家庭は技術分野と家庭分野を二人の教師で担当します。

・授業の受け方

- * チャイム着席し、机の上に教科で使う物を準備しておこう。
- 移動教室のときは、特に遅れないよう注意する。
- * 忘れ物をしないようにしよう。教科書、総合ノートが基本です。忘れ物をした場合は

自分で先生に報告するようにしましょう。

- * 私語をせず、授業に集中しよう。特に実習の時は安全に十分注意し、けがや事故のないように先生の指示をしっかりと聞き作業しましょう。
- * 学習した内容を自分の生活に返しながら、学習を深め自分の生活どう生かすか考えよう。
- * 総合ノートをわかりやすくまとめよう。（欠席した場合は、次回授業までにクラスの人にみせてもらうなどしてまとめておこう。）
- * 作品・総合ノートは決められた日までに必ず提出しよう。

・評価について

評 価 の 観 点	評 価 の 資 料 ・ 対 象
①生活や技術への関心・意欲・態度	意欲的に授業に取り組んでいるか。私語なく授業に集中しているか。忘れ物がないか。総合ノートをまとめ作品を完成させるか。提出物は期限までに提出できたか。
②生活を工夫し創造する能力	総合ノートのまとめた内容が、生活に役立つ工夫した内容になっているか。作品に工夫がみられるか。
③生活の技能	正しい手順で作業ができているか。技能の習熟度、作品の完成度はどうか。総合ノート記入状況や内容の充実度はどうか。
④生活や技術についての知識・理解	定期テストなどの出来具合はどうか。

* 家庭分野の内容と合わせて総合的に評価します

・家庭でも…

学習した内容を自分の生活でどんどん実践してみよう。進んで家のことに取り組むことで意欲や技能がさらに高まります。

おわりに

技術科は、自分の生活や技術について関心をもち、生活を充実向上させるためのものです。生活について見直し、課題解決を目指し、創造してゆき、生活に必要な基礎的な技術をみにつけることが大切です。3年間の学習で生活と技術のかかわりについて理解することを目標にしましょう。また、1年生では、自教室の学習だけではなく木工室で、木材に触れ工具を使って作品を完成させることもあります。出来上がった作品は、自分の生活で使えるものです。また、パソコン室では、学習用ソフトを使い作品づくりも行います。作品が完成した達成感をみんなで体験しよう。

技術・家庭(技術分野) 2年

はじめに

技術家庭(技術分野)では、生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てることをねらいし取り組んでいる教科です。

年間計画

題材	学習の内容
B エネルギー変換 ・エネルギー資源とエネルギー変換技術 ・機器の保守点検と安全 ・動く模型の設計と製作	・エネルギー資源やエネルギー変換技術とその仕組みや力の伝達について学ぶ。 ・電気製品の仕組みや保守点検や安全のしくみを学ぶ。 ・材料に応じた加工法、接合方法を学ぶ。 「テーブルタップ・ラジオ完成」提出
C 生物育成 ・栽培物の育成と管理 ・生物育成の技術	・作物の栽培方法と環境要素、管理技術を学ぶ。 ・生物育成を取り巻く現状を学ぶ。
D 情報に関する技術 ・コンピュータの情報処理のしくみ ・ネットワークの種類と特徴 ・情報モラルと知的財産 ・デジタル作品の設計と製作	・コンピュータのしくみやデジタル化の手順を学ぶ。 ・ソフトウェアの操作を学び情報に関する科学的理解をする。 ・ネットワークの種類や特徴、マルチメディアの特徴を学ぶ。 ・情報モラルと知的財産を学ぶ。 ・高度なソフトウェア操作を学ぶ。 「ソフトを使った作品の完成」提出

教科の先生からのアドバイス

技術家庭は技術分野と家庭分野を二人の教師で担当します。

・授業の受け方

* チャイム着席し、机の上に教科で使う物を準備しておこう。

移動教室のときは、特に遅れないよう注意する。

* 忘れ物をしないようにしましょう。教科書、総合ノートが基本です。忘れ物をした場合は自分で先生に報告するようにしましょう。

* 私語をせず、授業に集中しよう。特に実習の時は安全に十分注意し、けがや事故のないように先生の指示をしっかりと聞き作業しましょう。

* 学習した内容を自分の生活に返しながら、学習を深め自分の生活どう生かすか考える。

* 総合ノートをわかりやすくまとめる。(欠席した場合は、次回授業までにクラスの人にみせてもらうなどしてまとめておこう。)

* 作品・総合ノートは決められた日までに必ず提出しよう。

・評価について

評価の観点	評価の資料・対象
①生活や技術への関心・意欲・態度	意欲的に授業に取り組んでいるか。私語なく授業に集中しているか。忘れ物がないか。総合ノートをまとめ作品を完成させるか。提出物は期限までに提出できたか。
②生活を工夫し創造する能力	総合ノートのまとめた内容が、生活に役立つ工夫した内容になっているか。作品に工夫がみられるか。
③生活の技能	正しい手順で作業ができているか。技能の習熟度、作品の完成度はどうか。総合ノート記入状況や内容の充実度はどうか。
④生活や技術についての知識・理解	定期テストなどの出来具合はどうか。

* 家庭分野の内容と合わせて総合的に評価します

・家庭でも…

学習した内容を自分の生活でどんどん実践してみよう。進んで家のことに取り組むことで意欲や技能がさらに高まります。

おわりに

技術科は、自分の生活や技術について関心を持ち、生活を充実向上させるためのものです。生活について見直し、課題解決を目指し、創造してゆき、生活に必要な基礎的な技術をみにつけることが大切です。1年生で学習した木材加工の実技実習と同様に金工室で電気製品、パソコン室でソフトウェアの操作をします。技術力のさらなる向上を目指します。自教室での授業だけでなく実習教室の授業でもしっかり取り組みましょう。

技術・家庭(技術分野) 3年

はじめに

技術家庭(技術分野)では、生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てることをねらいし取り組んでいる教科です。

年間計画

題材	学習の内容
金属材料と加工に関する技術 ・製品の機能と構造 ・材料の特徴 ・構想図の作成 ・製作の準備 ・工具の使用法 ・部品加工(材料の切断、けずり、穴あけ) ・製品の仕上げ(表面しあげ)	・製品の用途や使いやすさ、機能とじょうぶな構造を考える。 ・金属材料の特徴をまとめる。 ・構想図のかき方を理解し製作のための構想図を、作成する。 「キーホルダデザイン図の完成」提出 ・製作工程を考える。 ・鋼尺、直定規、けがき針、弓ノコ、やすり、卓上ボール盤、研磨剤の使用法を、実習を通して理解する ・自分の計画したがいに製作を行う。 ・使用目的に合った研磨剤を使い表面処理をして完成する。 「黄銅キーホルダの完成」提出
・技術とものづくりの未来 ・卒業作品の製作	・3年間で学習した技術のまとめ、今後の生活にかかして行くかを考える。 ・3年間で習得した技術力を生かし、卒業作品を製作する。

教科の先生からのアドバイス

技術家庭は技術分野と家庭分野を二人の教師で担当します。また、3年生では、技術分野、家庭分野の授業がそれぞれ隔週になります。

・授業の受け方

- *チャイム着席し、机の上に教科で使う物を準備しておこう。
移動教室のときは、特に遅れないよう注意する。

- *忘れ物をしないようにしよう。教科書、学習ノートが基本です。忘れ物をした場合は自分で先生に報告するようにしましょう。
- *私語をせず、授業に集中しよう。特に実習の時は安全に十分注意し、けがや事故のないように先生の指示をしっかりと聞き作業しましょう。
- *学習した内容を自分の生活に返しながら、学習を深め自分の生活どう生かすか考える。
- *学習ノートをわかりやすくまとめる。(欠席した場合は、次回授業までにクラスの人にみせてもらうなどしてまとめておこう。)
- *作品・学習ノートは決められた日までに必ず提出しよう。

・評価について

評価の観点	評価の資料・対象
①生活や技術への関心・意欲・態度	意欲的に授業に取り組んでいるか。私語なく授業に集中しているか。忘れ物がないか。学習ノートをまとめ作品を完成させている。提出物は期限までに提出できたか。
②生活を工夫し創造する能力	学習ノートのまとめた内容が、生活に役立つ工夫した内容になっているか。作品に工夫がみられるか。
③生活の技能	正しい手順で作業ができているか。技能の習熟度、作品の完成度はどうか。学習ノート記入状況や内容の充実度はどうか。
④生活や技術についての知識・理解	定期テストなどの出来具合はどうか。

*家庭分野の内容と合わせて総合的に評価します

・家庭でも

学習した内容を自分の生活でどんどん実践してみよう。進んで家のことに取り組むことで意欲や技能がさらに高まります。

おわりに

技術科は、自分の生活や技術について関心を持ち、生活を充実向上させるために進でゆくものです。生活について見直し、課題解決を目指し、創造してゆき、生活に必要な基礎的な技術を身につけることが大切です。3年間の学習で生活と技術のかかわりについて理解することを目標にしましょう。3年間で、いろいろな材料を使いものづくりを大切に学習しました。そのことにより、ものづくりの楽しさや苦労や達成感を感じてきたとおもいます。その気持ちが自分の身の回りにある物に対する感謝の気持ちも湧くはずです。その気持ちを将来持ち続けてください。